各提出書類　記入上の留意点

[様式第1の記入上の留意点](#様式第1_記入上の留意点)

[様式第1－添付資料1の記入上の留意点](#様式第1－添付資料1_記入上の留意点)

[様式第1－添付資料2の記入上の留意点](#様式第1－添付資料2_記入上の留意点)

[様式第1－添付資料2－別紙1の記入上の留意点](#様式第1－添付資料2－別紙1_記入上の留意点)

[様式第1－添付資料2－別紙2の記入上の留意点](#様式第1－添付資料2－別紙2_記入上の留意点)

[別添1\_記入上の留意点](#別添1_記入上の留意点)

[別添2\_記入上の留意点](#別添2_記入上の留意点)

[別添3\_記入上の留意点](#別添3_記入上の留意点)

[別添4\_記入上の留意点](#別添4_記入上の留意点)

[追加資料1\_記入上の留意点](#追加資料1_記入上の留意点)

[追加資料2\_記入上の留意点](#追加資料2_記入上の留意点)

[追加資料3\_記入上の留意点](#追加資料3_記入上の留意点)

[追加資料4\_記入上の留意点](#追加資料4_記入上の留意点)

[追加資料5\_記入上の留意点](#追加資料5_記入上の留意点)

（様式第１）

**・ファイル作成補助Excelのマクロ機能により様式第1は自動出力されます。**

**・マクロ機能がうまく動かない場合は、下記の留意事項に従って作成してください。**

**・ファイル作成補助Excelの“様式第1”シートに転記されている情報をコピーし、この（様式第1）に貼付することで、作成しやすくなります。**

**・グレーの部分は（提案書提出の時点では）記載不要です。**

２０２**○**年**〇〇**月**〇〇**日

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

**【重要】提案者の記入方法（以降も共通）**

**●応募時点で個人の場合**

**応募タイプによらず、法人設立前の方は、提案者の「名称」「代表者氏名」とも“個人名”（チームの場合は代表者の氏名）を記入してください。**

**●法人として応募する場合**

**提案事業を実施するための法人を設立済みの方は、提案者の「名称」に法人名を、「代表者氏名」には、法人の代表者の役職・氏名を記入してください。**

　理事長　殿

　　　　　　　　　　　　　　　　　　提案者　　　　　〒**〇〇〇－〇〇〇〇**

住　　　所　**神奈川県川崎市・・□□□**

名　　　称　**●●株式会社**

代表者氏名　**代表取締役社長　根戸　太郎**

|  |  |
| --- | --- |
| e-Radの研究機関コード（１０桁） | **●●●●●●●●●●** |

　　課題設定型産業技術開発費助成金交付申請書

（ディープテック分野での人材発掘・起業家育成事業（NEP）/躍進コース）

　上記の件について、課題設定型産業技術開発費助成金の交付を受けたいので、課題設定型産業技術開発費助成金交付規程第７条第１項の規程に基づき下記のとおり申請します。

**応募時点で個人の場合は空欄としてください。**

**法人として応募する場合で、登録済みの場合は記入してください（未取得の場合も、後日登録して頂きます）。**

記

　１．助成事業の名称

**・事業内容がわかりやすく、短く簡潔な名称とし、３０字以内としてください。**

**・「 」（括弧）はつけないでください。**

　２．助成事業の概要

**・提案する事業内容を、１５０字以内（厳守）で記入してください。**

**・Web公開する場合がありますので、対外的に公表して問題ない内容としてください。**

　３．助成事業の総費用 **〇,〇〇〇,〇〇〇**円

**・本様式を含み、提案書に記入の費用は以下のとおり記入してください。**

**仕入税額控除を適用している課税事業者 → 「税抜き」**

**上記以外 → 「税込み」**

**・助成事業期間全体で必要となる経費を記入してください。**

**・別紙2 (4)項目別明細表の「助成事業に要する経費」の金額と一致させてください。**

**・4,987,360円のように円単位で記入してください。**

　４．助成金交付提案額 **〇,〇〇〇,〇〇〇**円

**・助成事業期間全体で必要となる経費のうち、助成を希望する額を記入してください。**

**・別紙2(2)助成先総括表の「助成金の額」の金額と一致させてください。**

**・応募タイプに応じて、助成の上限額（躍進A、B：５百万円未満、躍進C：３千万円以内）が異なりますので、注意してください。**

**・4,987,000円のように千円単位で端数切り下げの金額を記入してください。**

**（躍進A、Bは、4,999,000円が最大になります）**

**・なお、****採択時に決定した助成金交付額からの変更は、NEDOと相談の上、適正と認められれば変更は可能ですが、大幅な増額（上限額の範囲内）は認められない場合があります。**

　５．助成事業の開始及び終了予定年月日

　　　　　開始年月日交付 交付決定通知書に記載する事業開始の日から

　　　　　終了予定年月日 ２０２**〇**年**〇〇**月**〇〇**日

**最長で、2024年8月30日です。**

６．助成事業期間における資金計画

（１）収支計画

（単位：円）

**・助成事業に要する経費は、別紙2(4)項目別明細表の「助成事業に要する経費」の合計を転記してください。**

**・Ⅳ．助成金交付提案額は、別紙2(2)助成先総括表の「助成金の額」を転記してください。**

**・各年度とも支出＝収入合計が同額となるようにしてください。**

**・この表に記載の金額とは別に、助成金交付提案額に係る消費税分（助成金に含まれないため自己負担）を、別途負担していただく必要があります。**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 区分 | 2022年度 |  | 計 |
| 支出 | 助成事業に要する経費 |  |  |  |
| 収入 | Ⅰ．自己資金 |  |  |  |
| Ⅱ．借入金 |  |  |  |
| Ⅲ．その他の収入 |  |  |  |
| (小計) |  |  |  |
| Ⅳ．助成金交付提案額 |  |  |  |
| 合計 |  |  |  |

**【記載例①】**

**（助成金交付提案額で助成事業に要する経費の全額を賄える場合）**

****

**【記載例②】**

**（助成事業に要する経費を助成金交付提案額及び自己資金・借入金・その他の収入で賄う場合）**

****

　（２）借入金等の調達方法

**６（１）においてⅡ．借入金、Ⅲ．その他の収入を記入した場合には、その調達方法を記載ください。上記表を補足するため、必要な資金をいつどのように確保するか記載してください。**

　７．連絡先

提案者（主任研究者）

所属 **〇〇〇〇〇〇**

役職・氏名 **〇〇〇〇〇〇　　〇〇　〇〇**

郵便番号、住所 **〇〇〇〇〇〇**

電話番号 **〇〇〇〇〇〇**

ＦＡＸ番号 **〇〇〇〇〇〇**

Ｅメールアドレス **〇〇〇〇〇〇**

緊急連絡先

氏名 **〇〇　〇〇**

郵便番号、住所 **〇〇〇〇〇〇**

電話番号 **〇〇〇〇〇〇**

Ｅメールアドレス **〇〇〇〇〇〇**

**・緊急連絡先は、提案者以外の人を記載してください。共に活動する研究員の方でも構いませんが、常時連絡が取れる方としてください。**

（添付資料１）

**・「助成事業説明書（事業化計画書）」（添付資料1）は、7ページ以内で作成してください。**

**・青字記載の記入上の留意事項は、全て削除し、提出してください。**

助　成　事　業　説　明　書

（事　業　化　計　画　書）

１．想定する事業の概要

・どのような事業をしようとしているのか。顧客のペイン(必ず解決しなければならない強いニーズのある課題)と、提案するソリューション（そのペインの解決策）、だれが代金を払うのか(見込み顧客)などを簡潔に記入してください。

２．本事業を始めるきっかけ、動機、目的

**・事業化を目指した背景について記入してください。**

**・なぜ、自分たちが事業を進めるのか。なぜ、今のタイミングか等を含めてください。**

３．解決すべき課題／市場ニーズ／ターゲット顧客

**・本事業の背景となる解決すべき課題や顧客やユーザーが有するニーズ（いずれも具体的に調査したものが望ましい）について記載してください。当該課題解決の重要性についても記載してください。**

**・ターゲット顧客について：**

**＊提供する技術、サービス、商品に対して、実際にお金を払う顧客をなるべく具体的に（例えば、企業向けであればターゲット企業の業種、企業規模等の属性やターゲットとなり得る顧客数の見込み等を含めて）記載してください。また、その顧客がなぜお金を払うのかを記載してください。**

**＊そのターゲットを狙った場合に市場規模はどの程度になるのかについて記載してください。**

４．提供する技術、サービス、商品（具体的アプリケーション）と提供対象

**・技術シーズを基に、誰に対してどのようなサービスや商品を提供するのか、提供する技術、サービス、商品を通じて、課題やニーズがどう解決されるのかを具体的に記載してください。**

５．技術シーズの概要

**・本事業の基盤となる技術シーズの概要と現時点での成熟度（ラボレベル、試作段階（プロトタイプ）、製品化段階など）を記載してください。本項目では専門用語をなるべく避け、多くの人が理解できる内容としてください。**

６．技術の詳細

**・読み手に当該分野の前提知識があるとして、技術シーズの特徴をより詳しく記載してください。**

７．類似技術の状況（競合分析）

**・提供する技術、サービス、商品の先行事例や類似技術について、その状況を記載してください。直接的な競合だけではなく、課題の解決やニーズの充足が期待できる別の方法（間接的な競合）についても、可能な限り記載してください。**

８．事業の優位性及び期待される効果

**・本事業で提供する技術、サービス、商品が競合と比較して優れているポイント、あるいは競合が抱える課題（要求スペック・価格等）を記載し、いかに市場での競争に勝っていくのかを記載してください。**

９．利益モデル

**・本事業における、顧客、エンドユーザーを含むステークホルダー（ビジネス上の関係者。例えば、原料調達先や外部委託先、代理店など）を整理し、お金の流れを記載してください。また各ステークホルダーとすでに関係性がある場合は、記載可能な範囲でその程度を具体的に記載してください。**

１０．事業化プロセス

**・黒字転化する時期までを目途として、資金計画や人員計画、リソースの調達など、事業化に向けたアクションを記載してください。**

**・また、事業を海外展開する予定が、あれば明記してください。**

１１．事業における課題

**・現時点から事業の立ち上げにあたって、充足されていない要素（課題）を記載してください。**

１２．事業課題の解決方法

**・上記の事業における課題を解決するために必要なリソース（資金、設備、人員、アライアンス先、など）を記載してください。アライアンス先については、実際の企業名など、なるべく具体的に記載してください。**

１３．資金調達計画

　　（想定される事業計画を遂行するのに必要な資金をいつどのように調達するのか）

**・売上計画を達成する為に、どの時期に、何の目的（資金使途）で、いくら資金調達（シリーズA,B,C・・）を予定しているのか。売上高の変化点と資金調達を関連づけて記入してください。**

１４．エグジットプラン

**・資金調達、売上を実現出来た場合、会社の企業価値がどのように上昇し、その結果、いつ頃エグジット（株式上場、事業・会社売却等）する想定か。**

１５．事業開発体制（法人設立済みの応募者のみ記入）

（１）会社概要

・提案者名（法人名）　**●●●●株式会社**

・法人番号　**13桁の番号**

・住所　　　**●●●●●●●●**

・電話番号　**代表電話番号もしくは連絡先電話番号を記入してください。**

・法人の履歴

**法人の履歴（設立以降の名称、所在地、資本金等の事業活動に関する沿革）を簡単に箇条書きで記入してください。**

（２）設立年月

　　　**●●●●**年**●●**月

（３）資本金及び主たる株主

・資本金　**●●●**千円

・株主（上位５名）　※うち、創業時以降に加わった株主名の後ろに★を付ける

 １．　 　　　　（持株比率　**●●**％）

 ２．　　　　　 （持株比率　**●●**％）

 ３．　　　　（持株比率　**●●**％）

 ４．　　　　　 （持株比率　**●●**％）

 ５．　　　　　　 （持株比率　**●●**％）

（４）従業員数

　　　**●●**人（内訳　経営者：**●**人、従業員：**●**人、パートタイム：**●**人）

（５）会計監査人名

　　　**設置がない場合は“なし”と記入。設置している場合は公認会計士または監査法人名を記入。**

（６）主たる業種

（７）決算日

　　　**●●**月**●●**日

（８）法人設立以降の売上高（第1期決算を迎えていない場合、設立から応募時までの累計を記入）

　　　２０**●●年度：●●●**万円

２０**●●年度：●●●**万円

２０**●●年度：●●●**万円

**以下の設問に対して、具体的に回答してください。**

（９）応募要件等から見た会社状況／売上の概要

①過去の売上の概要（過去に売上がある法人のみ記入）

**いつから、どのような事業によって売上があるのか。**

②過去の売上と本提案事業の位置付け（過去に売上がある法人のみ記入）

**本提案事業が既存事業の拡大及び新規事業の創出ではないことを説明してください。**

③本事業の応募に至った背景

**本提案事業の事業化に向けて、今のタイミングでNEPに応募して事業化を目指す理由。**

**(貴法人の事業化活動の経緯、市場変化、技術シーズの開発状況 等)**

（添付資料２）

**・「助成事業実施計画書」（添付資料２）は、10ページ以内（別紙１、別紙２を除く）で作成してください。**

**・別紙1は「別紙1.xlsx」で、別紙2～4は「情報項目、様式第1、別紙2.xlsx」で作成してください。**

**・青字記載の記入上の留意事項は、全て削除し、提出してください。**

助成事業実施計画書

１　研究開発の体制等

1. 研究体制図

**・助成事業を遂行する体制と、研究者の氏名、役割分担を、図で具体的に記入してください。図の書式は自由に変更していただいて構いません。**

**＜例＞　研究員Ａ　根戸次郎　試作品の分析評価**

**・共同研究先がある場合、提案者と共同研究等の相手先（大学などの研究機関等と事業会社）とのそれぞれの役割が分かるように記入してください。事業会社が複数の場合には、主たる連携先１社を記してください。**

**・ただし、費用計上可能な共同研究先は大学などの学術機関に限ります。**

**・助成費用の対象外となる共同研究先についても、事業の全体像を示すために記載してください。ただし、助成費用の対象外については、研究員の記載は必須ではありません。**

**・登録された研究員であれば、研究活動に係る旅費が計上可能です。**

提案者　○○　○○

（主任研究者）

研究員A

氏名

役割

研究員B

氏名

役割

研究員C

氏名

役割

○○大学

研究員a

氏名

役割

研究員b

氏名

役割

助成事業者

共同研究先

△△株式会社

事業会社/外注先　等

研究員1

氏名

役割

研究員2

氏名

役割

助成費用の対象外

**（２）の行はこのままにしてください。**

　　(２) 助成先における研究体制（別紙１に記載）

　　(３) 共同研究先における研究体制（共同研究先がある場合は記入）（別紙１に記載）

**・該当なしの場合は「該当なし」と記入**

　各組織の役割

(a)　全体の目標

　○○○○のための××××を作成し△△△△の性能を実証する。

* **提案者（個人の場合は登録研究員、法人の場合は自社に籍を置く者を含む）のうち、共同研究先の研究機関にも籍を置く者がいる場合、“NEP提案者”、“共同研究先”それぞれの立場における役割を明確にし、利益相反等を回避するための対応を説明してください。**

(b)　提案者（主任研究者）の役割

　××××作成の内□□□□を実施し、動作確認により◇◇◇◇のデータを取得する。

(c)　共同研究等の相手先の役割と協力項目

　××××作成の内、▽▽▽▽の設計を実施し、動作確認データの解析を実施する。

**・該当なしの場合は「該当なし」と記入**

**・提案者（個人の場合は登録研究員、法人の場合は自社に籍を置く者を含む）のうち、共同研究先の研究機関にも籍を置く者がいる場合、“NEP提案者”、“共同研究先”それぞれの立場における役割を明確にし、利益相反等を回避するための対応を説明してください。**

(d)　本助成事業に関わる共同研究等の成果の取扱い（特に知的財産権の帰属）

共同出願を基本とし、●●●●大学の権利を提案者に譲渡する。

**・知的財産権の帰属については事前に共同研究先と協議の上、取扱いについて合意をしておいてください**

　　(４) 委員会等における外部からの指導又は協力者（該当時は記入）（別紙１に記載）

**・該当なしの場合は「該当なし」と記入**

**外部指導者又は協力者の活動に対する謝金や旅費計上をする場合は別紙１への記載必須です。**

２　助成事業に要する費用の内訳等（全て別紙２に記載）

（１）全期間総括表

（２）助成先、研究分担先総括表

（３）共同研究先総括表

（４）項目別明細表（助成先用／共同研究先用）

**共同研究先がある場合は↑このように記入**

　　（１）全期間総括表

　　（２）助成先、研究分担先総括表

　　（３）共同研究先総括表：該当なし

　　（４）項目別明細表（助成先用）

**共同研究先がない場合は↑このように記入**

３　これまでの開発の経緯

1. これまでの開発状況の概要

**・これまで、何を目指して、どこまで研究開発が進んでいるのかを記入してください。**

**・実用化の基となる技術を生み出したプロジェクト等があれば記入してください。**

**・本事業に関連する既存技術において、受賞歴があれば記入してください。**

（２） 研究開発の独創性・新規性の根拠

① 実用化の基盤となる技術、取得特許、ノウハウ等の内容

**実用化の基盤となる技術、これまで開発したコア技術を説明してください。**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 特許の名称（最新状況） | 出願番号（出願日）（公開、公告、登録のうち最新のもの） | 出願人 | 発明者 | 係争の有無 | 明細書等の写し |
| **○の装置****（特許取得済）**　 | **特許第▲▲号****（登録日H▲．▲．▲）**　 | **◇◇◇◇** | **根戸太郎****根戸次郎**　 | **無し** | **【別添4】****特許１**　 |
| **△の方法****（審査請求中）**　 | **特願××××－××××××****（H▲．▲．▲）**　 | **◇◇◇◇** | **根戸太郎** | **無し** | **【別添4】****特許２**　 |

**・特許の最新状況については、「審査請求中」、「特許取得済み」等を記入してください。また、特許の出願人及び発明者（提案書に記入されている全員）を記入してください。**

**・自社特許でない場合、基となる特許の使用許諾を受けているか、あるいは占有実施権の有無を記入してください。**

**・必要に応じ、特許の明細書等（要約でも可）を別添4として提案書に添付してください。ただし、特許1件あたり3ページ以内にまとめた要約版（特許の要約、請求項、発明の効果、図　等）を添付してください。**

②　国内外他社における関連特許の取得状況と、ご自身の特許の回避状況

**・国内外他社における関連特許の取得状況を記入してください。また、①に記入した特許、ノウハウ等との相違について、権利侵害の可能性を含めて記入してください。**

４　事業期間における助成事業のPoC（Proof of Concept（概念実証））

　　(１) PoC

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 助成事業期間中のPoC項目・目標 | PoCの検証手段 |
| **PoC1** | **●●に関して、反応効率９０％以上を達成できる触媒を定する。** | **パイロット実験システムを構築。候補とする触媒●、▲、■などを対象として検証する。** |
| **PoC2** | **生成物の純度９５%以上を達成できる条件を確定する。** | **生成物重量比、反応温度、撹拌速度について最適な反応条件を探索する。** |
| **PoC3** | **物質●●の市場性を、■■分野について調査確認する。また市場については、日、米を中心に調査する。** | **●●分野のメーカーなどを中心に、市場調査を行う。また、物質●●を使用した最終製品のエンドユーザーヒアリングを行う。** |

**・起業家候補人材には、技術シーズの原理確認又は市場でのニーズ確認（Proof of Concept; 以下、「PoC」という）に係る資金、事業化のためのビジネスプラン構築に係る研修・個別メンタリング、ビジネスプランの発表及び投資家や事業会社とのマッチング機会を提供することで、研究開発型スタートアップの起業促進及び事業化加速を目指します。**

**・PoCの内容及びPoCの検証手段を記載してください。（最小２～最大４項目）**

**・提案の時点では定性的な記述でも構いませんが、可能であれば定量的な情報も記載してください。採択された場合は、交付申請の間までにさらにブラッシュアップする機会があります。**

**・調査研究の一環で展示会出展を予定している場合は、そこで、調査又は実証試験をどのように進め、どのような結果を得ようとしているのかを、「５　事業期間における研究開発の内容」に具体的に記入してください。**

1. 上記目標設定の理由（国内外における技術動向や既存の製品との関連等について説明すること。）

**・上記目標の設定理由と達成手段を箇条書きで記入してください。**

**・記入にあたって、明確（達成できるレベルを数値により定量的に）かつ簡潔に記入してください。**

**・国内外の競合技術との比較や、ユーザーが要望する製品スペックとの関係等についても説明してください。**

５　事業期間における研究開発の内容

　　（４-(１)のPoCを達成するために必要な研究開発の内容を説明すること。）

**PoC１：　　●●に関して、反応効率９０％以上を達成できる触媒を選定する**

**課題：　　・・・・・・・**

**克服手段：　　実用化開発項目 ア）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・**

**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・**

**実用化開発項目 イ）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・**

**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・**

**PoC２：　　生成物の純度９５%以上を達成できる条件を確定する。**

**課題：　　・・・・・・・**

**克服手段：　　実用化開発項目 ウ）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・**

**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・**

**PoC３：　　物質●●の市場性を、■■分野について調査確認する。・・・・**

**課題：・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・**

**克服手段：・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・**

**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・**

* **「事業期間における助成事業のPoC（Proof of Concept（概念実証））」について、各項目の内容を具体的かつ詳細に記入してください。**
* **目標を達成するために共同研究先の研究機関が果たす役割を具体的かつ詳細に記入してください。**
* **ユーザー評価を研究開発に反映させる目的で一部研究開発成果を反映した無償によるサンプル出荷、又は製造原価以下による販売等を行う場合には、その計画とねらいについても具体的に記載してください。**
* **技術課題各々の克服手段について、できるだけ図表を用いてわかりやすく記入してください。**

６　共同研究（ある場合にのみ記入してください。）

1. 共同研究先の研究テーマ及び内容（役割分担を含む。）

**・この事業を進めるに当たり、共同研究先のテーマ、内容及び役割の詳細を記載してください。**

1. 研究成果利用

**・共同研究の技術開発成果を御社は今後の事業化にどのように活用するのかを記載して下さい。**

７　事業期間中の研究開発日程



**・「09\_スケジュール作成用→添付資料2貼り付ける用.xlsx」内の「NEP研究開発日程表」シートで作成し、図として貼り付けてください。**

８　５年間の事業計画

**・「09\_スケジュール作成用→添付資料2貼り付ける用.xlsx」内の「5か年事業計画表」シートで作成し、図として貼り付けてください。**



（別紙１）

（２）助成先における研究体制

 

**・ファイル作成補助Excelのマクロ機能により別紙1は自動出力されますので手入力による作成は基本的に必要ありません。**

**・マクロ機能がうまく動かない場合は、下記の留意事項に従って作成してください。**

**・ファイル作成補助Excelの“別紙1(2)”シートに転記されている情報をコピーし、この（様式第1）に貼付することで、作成しやすくなります。**

**・青字記載の記入上の留意事項は、全て削除し、提出してください。**

**・グレーの部分は（提案書提出の時点では）記載不要です。**

**・採択された場合は、カタライザーとのメンタリング期間中に計画をブラッシュアップし、交付申請書提出の時点までに修正が可能です。**

（別紙１）

（３）共同研究先における研究体制



**・ファイル作成補助Excelのマクロ機能により別紙1は自動出力されますので手入力による作成は基本的に必要ありません。**

**・共同研究先がない場合は"別紙1(3)"は不要です。**

**・マクロ機能がうまく動かない場合は、下記の留意事項に従って作成してください。**

**・ファイル作成補助Excelの“別紙1(2)”シートに転記されている情報をコピーし、この（様式第1）に貼付することで、作成しやすくなります。**

**・青字記載の記入上の留意事項は、全て削除し、提出してください。**

**・グレーの部分は（提案書提出の時点では）記載不要です。**

**・採択された場合は、カタライザーとのメンタリング期間中に計画をブラッシュアップし、交付申請書提出の時点までに修正が可能です。**

（別紙１）

（４）委員会等における外部からの指導又は協力者



**・ファイル作成補助Excelのマクロ機能により別紙1は自動出力されますので手入力による作成は基本的に必要ありません。**

**・マクロ機能がうまく動かない場合は、下記の留意事項に従って作成してください。**

**・ファイル作成補助Excelの“別紙1(４)”シートに転記されている情報をコピーし、ここに貼付することで、作成しやすくなります。**

**・青字記載の記入上の留意事項は、全て削除し、提出してください。**

**・採択された場合は、カタライザーとのメンタリング期間中に計画をブラッシュアップし、交付申請書提出の時点までに修正が可能です。**

（別紙２）

（１）全期間総括表

**・ファイル作成補助Excelのマクロ機能により別紙２は自動出力されますので手入力による作成は基本的に必要ありません。**

**・マクロ機能がうまく動かない場合は、下記の留意事項に従って作成してください。**

**・ファイル作成補助Excelの“別紙２(1)”シートに転記されている情報をコピーし、ここに貼付することで、作成しやすくなります。**

**・青字記載の記入上の留意事項は、全て削除し、提出してください。**

**・採択された場合は、カタライザーとのメンタリング期間中に計画をブラッシュアップし、交付申請書提出の時点までに修正が可能です。**

 

（別紙２）

（２）助成先総括表



**・ファイル作成補助Excelのマクロ機能により別紙２は自動出力されますので手入力による作成は基本的に必要ありません。**

**・マクロ機能がうまく動かない場合は、下記の留意事項に従って作成してください。**

**・ファイル作成補助Excelの“別紙２(2)”シートに転記されている情報をコピーし、ここに貼付することで、作成しやすくなります。**

**・青字記載の記入上の留意事項は、全て削除し、提出してください。**

**・採択された場合は、カタライザーとのメンタリング期間中に計画をブラッシュアップし、交付申請書提出の時点までに修正が可能です。**

**タイプBは補助員費のみ計上可能。労務費に計上できる上限は、500万円未満または助成額全体の25%未満のいずれか低い方です。**

（別紙２）

（３）共同研究先総括表

 

**（様式第1）NEP助成金交付提案書の「1．助成事業の名称」に記載した事業名称を記載してください。**

**・ファイル作成補助Excelのマクロ機能により別紙２は自動出力されますので手入力による作成は基本的に必要ありません。**

**・共同研究先がない場合は"別紙2(3)"は不要です。**

**・マクロ機能がうまく動かない場合は、下記の留意事項に従って作成してください。**

**・ファイル作成補助Excelの“別紙２(3)”シートに転記されている情報をコピーし、ここに貼付することで、作成しやすくなります。**

**・青字記載の記入上の留意事項は、全て削除し、提出してください。**

**・採択された場合は、カタライザーとのメンタリング期間中に計画をブラッシュアップし、交付申請書提出の時点までに修正が可能です。**

（別紙２）

（４）項目別明細表（助成先用）

 

**・ファイル作成補助Excelのマクロ機能により別紙２は自動出力されますので手入力による作成は基本的に必要ありません。**

**・２０２３年度分と２０２４年度分の２つが自動出力されます。**

**・マクロ機能がうまく動かない場合は、下記の留意事項に従って作成してください。**

**・ファイル作成補助Excelの“別紙２(4)”シートに転記されている情報をコピーし、ここに貼付することで、作成しやすくなります。**

**・青字記載の記入上の留意事項は、全て削除し、提出してください。**

**・採択された場合は、カタライザーとのメンタリング期間中に計画をブラッシュアップし、交付申請書提出の時点までに修正が可能です。**

（別紙２）

（４）項目別明細表（共同研究先用）



**・ファイル作成補助Excelのマクロ機能により別紙２は自動出力されますので手入力による作成は基本的に必要ありません。**

**・２０２３年度分と２０２４年度分の２つが自動出力されます。**

**・共同研究先がない場合は"別紙2(4)（共同研究先用）1"は不要です。**

**・マクロ機能がうまく動かない場合は、下記の留意事項に従って作成してください。**

**・ファイル作成補助Excelの“別紙２(4)”シートに転記されている情報をコピーし、ここに貼付することで、作成しやすくなります。**

**・青字記載の記入上の留意事項は、全て削除し、提出してください。**

**・採択された場合は、カタライザーとのメンタリング期間中に計画をブラッシュアップし、交付申請書提出の時点までに修正が可能です。**

【別添１】

事業プランのキーワード

（１）技術キーワード（重要なもの（関連が強いもの）から順に、２つ以上必ず記入すること）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| (1)**1010** | **アミノ酸、ペプチド** | (2) |  | (3) |  |
| (4) |  | (5) |  | (6) |  |

（２）事業化キーワード

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **ユビキタス社会** | **街頭広告** |  |

（３）フリーキーワード

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **３Ｄ画像技術** |  |  |

（４）専門用語の解説

【別添２】

**・ファイル作成補助Excelのマクロ機能により別添1は自動出力されますので手入力による作成は基本的に必要ありません。**

**・マクロ機能がうまく動かない場合は、下記の留意事項に従って作成してください。**

**・ファイル作成補助Excelの“別添1”シートに転記されている情報をコピーし、ここに貼付することで、作成しやすくなります。**

**・青字記載の記入上の留意事項は、全て削除し、提出してください。**

その他の補助金制度との関係等

１．補助金制度等による受給の有無

（１）補助金制度等による受給を受けた事業（提案時点で補助金を受け実施中の内容も含む。）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 実施機関の名称 | **▲▲省** |  |
| 制度の名称 | **平成○○年度××開発補助金** |  |
| 採択者名称 | **（提案者及び提案者が所属する組織など。）** |  |
| 研究者名（エフォート） | **▲▲部　◎◎◎◎　主任研究員（５０％）、▽▽▽▽▽研究員（７５％）** |  |
| 対象期間 | **（西暦）　年　月　日　～（西暦）　　年　月　日** |  |
| テーマ名 | **～～の開発** |  |
| 補助金額 | **○○円** |  |
| 事業の概要（目標・成果） | **詳しく、明瞭に記述してください。** |  |
| 本提案との差異 | **本提案との重複が無いことを明確に判断できるように記入してください。** |  |

* **提案者及びメンバーが関わっていた制度についての確認です。**
* **当該実用化開発の全て若しくは一部及び当該実用化開発に関連した開発で国、ＮＥＤＯ及びその他の独立行政法人、地方自治体等からの委託（再委託を含む）又は補助金交付を受けたことがある場合、その概要を記入してください。**
* **複数ある場合は表をコピーして補助金ごとに記入してください。**
* **該当が無い場合には、表は削除し「無し」と記入してください。**
* **実施機関の名称、制度の名称、対象期間、補助金額、****事業の概要（目標・成果（特に実用化した場合の事業展開））、本提案との差違を記入してください。**
* **記入等の不備により、類似・同一の研究開発で補助金等の受給が判明した場合は、虚偽の提案として審査の打ち切り、交付決定後の場合でも交付決定の取り消し等を行うことがあります。**
* **なお、研究項目が異なっていても、同一製品、サービスの実用化に供する開発については、重複とみなします。**

（２）補助金制度等による受給を提案中又は提案予定の事業

|  |  |
| --- | --- |
| 実施機関の名称 | **▲▲省** |
| 制度の名称 | **平成○○年度××開発補助金** |
| 提案者名称 | **◇◇（提案者及び提案者が所属する組織など。）** |
| 研究者名（エフォート） | **▲▲部　◎◎◎◎　主任研究員（５０％）、▽▽▽▽▽研究員（７５％）** |
| 対象期間 | **（西暦）　年　月　日　～（西暦）　年　月　日** |
| テーマ名 | **～～の開発** |
| 補助金額 | **○○円** |
| 事業の概要（目標） | **詳しく、明瞭に記述してください。** |
| 本提案との差異 | **本提案との重複が無いことを明確に判断できるように記入してください。** |

* **当該実用化開発の全て若しくは一部及び当該実用化開発に関連した開発を、国、ＮＥＤＯ及びその他の独立行政法人、地方自治体等に現在申請中、あるいは申請を予定している場合、その概要（実施機関の名称、制度の名称、対象期間、補助金額、事業の概要（目標）、本提案との差違等）を記入してください。**
* **複数ある場合は表をコピーして補助金ごとに記入してください。**
* **該当が無い場合には、表は削除し「無し」と記入してください。**
* **なお、研究項目が異なっていても、同一製品、サービスの実用化に供する開発については、重複とみなします。**

２．過去にＮＥＤＯ等で実施した事業との関係

本提案が、過去にＮＥＤＯ等で実施した研究開発事業の成果を活用したものであり、本提案の助成事業を実施することにより、その成果の実用化が加速すると考えられる場合には以下に記入してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 実施機関の名称 | **NEDO**  |
| 制度の名称 | **平成○○年度××開発補助金** |
| 採択者名称 | **◇◇（提案者及び提案者が所属する組織など。）** |
| 研究者名（エフォート） | **▲▲部　◎◎◎◎　主任研究員（５０％）、▽▽▽▽▽研究員（７５％）** |
| 対象期間 | **（西暦）　年　月　日　～（西暦）　年　月　日** |
| テーマ名 | **～～の開発** |
| 補助金額 | **○○円** |
| 本提案との関係 | **詳しく、明瞭に記述してください。** |

* **NEDO TCPへの参加実績がある場合も記入してください。**
* **複数ある場合は表をコピーして事業ごとに記入してください。**
* **該当が無い場合には、表は削除し「無し」と記入してください。**

【別添３】

－ 主任研究者研究経歴書の記入について －

研究経歴書は、研究開発等実施体制の審査のために利用されます（ただし、法令等により提供を求められた場合を除きます）。

事業の遂行を管理し、各種文書の提出や研究員の従事日誌の確認等を行う助成事業を遂行する際の責任者である主任研究者について、研究経歴を主任研究者研究経歴書（次ページ）に記入し提出してください。

【記入にあたっての注意点】

①研究開発経歴（現職含む）：

* 1. 「過去の研究実績（参画プロジェクト）」については、自社独自のプロジェクトのみならず過去に参画したNEDOプロジェクト等も含めて記載してください。また、大学への派遣や他の企業／研究機関での勤務経験なども併せて記載してください。

②受賞歴、当該研究開発に関する最近５年間の主要論文、研究発表、特許等（外国出願を含む）：

* 1. 当該研究開発プロジェクトに関連する研究成果を記載してください。
	2. 研究成果を示すものとして、「論文（研究経歴又は専門分野における代表的な論文。学会の査読の無いもの等も可）」、「研究発表（学会のみならずシンポジウム等での口頭発表等も可）」、「特許（外国出願を含む）」等がありますが、これに限定しません。なお、共著者、共同発表者、又は共同発明者でも可です。

※「論文、研究発表、特許等」は、原則として少なくてもこれらのうち１つについて当該分野に関する研究成果を示す記述があることが必要となります。これらがない研究者においては、「その他」項目に当該プロジェクトを遂行する上で当人の知見が不可欠であることを示す事由を記載してください。技能者や分析担当者・技術動向調査担当者等において、「論文」「研究発表」「特許」等が無い場合については、当該人物が研究に不可欠である旨を有する技能や経験に関連付けて記述してください。

③自己ＰＲ等：

* 1. 起業・事業化にかける意欲、情熱、リーダーシップ、柔軟性、論理力等について、提案者（主任研究者）がＰＲする点があれば、簡潔に記載してください。
	2. 「大企業等からのスピンアウト／カーブアウト」に該当する応募者は、その経緯を簡潔に記載してください。
* **・行が足りない場合は、適宜レイアウトを調整しても構いません。ただし、全体を1ページ以内に収めるようにしてください。**
* **このページは提出しなくてよいです。**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |  |  |  |  | 経歴書作成日： |  |
|  | 主任研究者　研究経歴書 |
| 氏名 |  |  |
| フリガナ |  |  |
| 生年月日（西暦） |  |  |
| 所属研究機関のe-Rad研究機関コード（10桁）(応募時点で法人設立済み、かつ取得済みの場合) |  |  |
| e-Rad研究者番号（8桁） |  |  |
| 所属 |  |  |
| 部署名 |  |  |
| 役職名 |  |  |
| 所属機関の研究者代表（該当：１　非該当：２） |  |  |
| 最終学歴 |  |  |
| 学位 |  |  |
| 学位取得年（西暦） |  |  |
|  | 研究開発経歴（西暦　※現職含む） |
| 　 | 年 | ～ | 年 |  | 研究開発内容 |
|  | ～ |  |  |  |
|  | ～ |  |  |  |
|  | ～ |  |  |  |
|  | ～ |  |  |  |
|  | ～ |  |  |  |
|  | ～ |  |  |  |
|  | ～ |  |  |  |
|  | ～ |  |  |  |
|  | ～ |  |  |  |
|  | ～ |  |  |  |
|  | 受賞歴（西暦　※年月） |
| 　 | 年 | 月 |  | 主催者名 | 表彰制度名称 |  | 受賞名称 | 受賞件名 | 備考 |
| 　 | 　 | 　 |  |  |  |  |  |  |
| 　 | 　 | 　 |  |  |  |  |  |  |
| 　 | 　 | 　 |  |  |  |  |  |  |
| 　 | 　 | 　 |  |  |  |  |  |  |
| 　 | 　 | 　 |  |  |  |  |  |  |
|  | 当該研究開発に関連する最近5年間の成果等（各主要なもの10件以下） |
| 論文　 | 発行年 | 月 |  | 主な著者１ | 著者２ |  | 著者３ | 表題 | 論文雑誌名 | 巻（Vol.） | 号 | 備考 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  | 　 | 　 |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  | 　 | 　 |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  | 　 | 　 |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  | 　 | 　 |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  | 　 | 　 |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  | 　 | 　 |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  | 　 | 　 |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  | 　 | 　 |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  | 　 | 　 |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  | 　 | 　 |  |
| 研究発表　 | 発表年 | 月 |  | 主催者名 | イベント名 |  | 発表者 | 発表タイトル | 備考 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 特許等　 | 出願年 | 月 | 日 | 出願番号 | 登録番号 |  | 発明等の名称 | 備考 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
| その他　 | 年 | 月 |  | タイトル |  | 自由記述 |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
| 本研究開発プロジェクトにおける役割 |
|  |
| 自己PR等 |
|  |

* 研究開発等実施体制の審査のために利用されます。ただし、法令等により提供を求められた場合を除きます。

【別添３】

【別添４】

特許１の明細書

* **（添付資料２）「助成事業実施計画書」の３（２）研究開発の独創性・新規性に記載した特許について、特許1件あたり3ページ以内にまとめた要約版（特許の要約、請求項、発明の効果、図　等）をこの箇所に挿入してください。出願、公開、登録された特許書類一式をそのまま添付することの無いようにしてください。要約版には、右上【別添４】の記載はなしで構いません。**
* **複数の特許の明細書を作成する際は、タイトルを特許1の明細書、特許２の明細書…、というように変えてください。**
* **本提案に関連する特許がない場合は、本ページは作成不要です。**

【追加資料１】

利害関係の確認について

* NEDOは、採択審査に当たり大学・研究機関・企業等の外部専門家による採択審査委員会を開催します。この採択審査委員会では公正な審査を行うことはもちろん、知り得た提案情報についても審査以外の目的に利用することを禁じております。
* さらに、採択審査委員の選定段階で、NEDOは利害関係者を排除すべく細心の注意を払っているところですが、さらに採択審査委員本人にも事前に確認を求め、より公平・公正な審査の徹底を図ることといたしております。
* そこで、提案者の皆さまには、採択審査委員に事前提供する情報の記載をお願いいたします。本書類にていただいた「提案者名」、「研究開発テーマ」及び「技術的なポイント」を採択審査委員に提示し、自らが利害関係者、とりわけ競合関係に当たるかどうか、の判断を促します。技術的なポイントについては、競合関係を特定することが可能と考える技術的なポイントを問題ない範囲で記載いただけますようお願いいたします。
* また、NEDOが採択審査委員を選定する上で、利害関係者とお考えになる者がいらっしゃる場合には、別紙の記載欄に任意で記載いただいても構いません。なお、採択審査委員から、利害関係の有無の判断がつかないとのコメントがあった場合には、追加情報の提供をお願いする場合がございますので、御協力をお願いいたします。

|  |
| --- |
| （提案者名）**（様式第1）****【重要】提案者の記入方法を参照**○○○○ |

**（様式第1）NEP助成金交付提案書「１．助成事業の名称」に記入したものを転記。**

|  |
| --- |
| （研究開発テーマ）■■■■ |

|  |
| --- |
| （技術的なポイント） |

利害関係のある評価者

**（(ＮＥＤＯにて記入しますので、空欄としてください)**

整理番号

**（様式第1）【重要】提案者の記入方法を参照**

提案者名　　　　○○○○

**(（様式第1）NEP助成金交付提案書「１．助成事業の名称」を転記)**

助成事業の名称　■■■■

利害関係のある評価者

評価者名（１）／機関名（１）：

理由（１）：

**・本公募ページに掲載の「評価者（外部専門家）候補リスト」から利害関係（定義は以下参照）のある評価者を検索し、記入してください。**

**・利害関係のある評価者がいない場合は、「該当無し」と記入してください。**

評価者名（２）／機関名（２）：

理由（２）：

評価者名（３）／機関名（３）：

理由（３）：

評価者名（４）／機関名（４）：

理由（４）：

評価者名（５）／機関名（５）：

理由（６）：

利害関係者の定義

1　規程

NEDOでは、NEDO技術委員・技術委員会等規程（平成15年度規程第63号）（以下「規程」という。）第34条及び第35条それぞれの第2項において、利害関係者を次のとおり規定しています。

【規程抜粋】

2　利害関係者の範囲は、次の各号に定める通りとする。

一 被評価者の配偶者、四親等内の血族、三親等内の姻族又は同居の親族にある者

二 被評価者と大学・研究機関において同一の学科・研究室等又は同一の企業に所属している者

三 被評価者の案件の中で研究分担者若しくは共同研究者となっている者又はその者に所属している者

四 被評価者の案件と直接的な競争関係にある者又はその者に所属している者

五 その他機構が利害関係者と判断した者

【追加資料２】

**法人の応募者のみ必要です。応募時点で個人の場合は、本ページは削除してください。**

提案者各位

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

－ ＮＥＤＯ研究開発プロジェクトの実績調査票の記入について －

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（ＮＥＤＯ）では、研究開発プロジェクトの実施について、その成果を把握するとともに研究マネジメント改善や技術開発戦略への反映を図りたいと考えており、本調査を実施いたします。下記のとおり提出くださいますようお願いいたします。

調査結果については、ＮＥＤＯ内において、厳重な管理の下で取り扱うこととしており、情報を外部に公表する場合には、統計処理するなど企業名が特定されないよう細心の注意を払わせていただきます。

なお、本調査は採択審査に活用しますので、必ず提出をお願いいたします。

記

|  |  |
| --- | --- |
| 対象者 | 提案書の実施体制に含まれる全ての実施者（再委託先、共同実施先を含む）のうち、**企業のみが対象**です。技術研究組合については、構成する全ての法人のうち企業のみが対象です。なお、同一年度において同一法人当たり一回の御協力をお願いします。他のＮＥＤＯ事業公募時に提出している場合は、調査票の提出済み欄にチェックして提出ください。 |
| 対象プロジェクト | 対象者が過去に実施したＮＥＤＯの研究開発プロジェクト（再委託先、共同実施先を含む）。ただし、対象は、過去15年間（前身の特殊法人での案件を含む）のプロジェクト。また、同一年度にＮＥＤＯへ企業化状況報告書を提出するもの、追跡調査にて御回答いただくものは除きます。（補足QA参照） |
| 記入方法 | 調査票に記入してください。対象が5件以上ある場合には、売上や成果の活用面で高く評価できるものから5件（1者当たり）を対象者にて選定してください。調査票は対象者ごと、プロジェクトごとに複製して利用ください。＜記入上の注意＞○実用化の定義顧客評価（認定用）サンプルの作成や量産試作の実施、製造ライン設置、原価計算、製品ラインアップ化（カタログ掲載）、継続的な売り上げ発生　等○その他ＮＥＤＯ成果として認識するもの直接的なものに限らず、波及効果・派生技術・知財ライセンス・技術移転等も含みます |
| 提出方法 | 公募期限までに、対象者ごとにまとめて提出してください。 |
| 問合先及び提出先 | 提案書と同じ。 |
| その他 | 記載いただいた内容に関して、問い合わせさせていただくことがあります。 |

以上

【追加資料２】

ＮＥＤＯ研究開発プロジェクトの実績調査票

・提案書の実施体制に含まれる全ての企業ごとに本票を複製して記入してください。

・実施実績が多くある場合は、効果が大きい順に複数（最大５種）お書きください。

・提案書とは別にＮＥＤＯへ直接提出してもかまいません。

|  |  |
| --- | --- |
| １．今回提案するプロジェクト | ■■■■ |
| ２．企業名 | ○○○○ |
| ３．記載免除条件**チェックボックス** | ＜下記に該当する場合チェックしてください＞[ ] 過去15年間、ＮＥＤＯプロジェクト実施実績なし[ ] 同一年度に既に他の公募にて提出済（応募事業名：○○○技術開発　公募期間：○年○月○日～○年○月○日） |
| ４．直近の報告 | [ ]  類似の調査にて報告済（調査名：○○に関する調査）[ ] 同一年度追跡調査にて報告済（※プロジェクト終了後6年以内）（該当プロジェクト名：P00000　　○○技術開発）[ ] 同一年度に企業化状況報告書（又は実用化状況報告書）にて報告済（※特定の助成事業\*1終了後6年以内、基盤技術研究促進事業終了後11年以内又は16年以内）（該当制度名：○○事業） |
| ５．過去の実施実績① | ＜「3. 記載免除条件」に該当する場合は、本欄の記載は不要です。＞※過去15年以内に実施したＮＥＤＯプロジェクトの成果について記載してください。また、「4. 直近の報告」に記載した事業ついては、記載不要です。ただし、上記のいずれかに該当する場合でも、報告内容に変更があった場合は、本項目を記載してください。（波及効果・派生技術・知財ライセンス・技術移転等も含む）* プロジェクト番号・名称：P●●●●● ○○技術開発
* 実施期間：○○年度～○○年度
* プロジェクトで生み出した技術的成果と実用化の状況：（例）当該事業で開発した○○○技術を、△△△製品の×××として活用している。
* 当該事業で開発した○○○技術を利用して△△△の製造をしている。
* 当該事業で取得した○○に関する特許を他社にライセンス供与している。
* 成果が活用されている製品名：
* 直近の売上額：
* その他（社会的便益、CO2削減効果、雇用創出など）：
* 記入者連絡先（下記のいずれかをチェック） [ ] 提案者と同じ [ ] それ以外（以下に記述してください）

所属・氏名： 住所：電話： e-Mail： |
| （留意事項）＊1：対象となる助成事業：・福祉用具実用化開発推進事業　　・産業技術実用化開発助成事業　　・大学発事業創出実用化研究開発事業・国民の健康寿命延伸に資する医療機器・生活支援機器等の実用化開発・課題設定型産業技術開発費助成金交付規程を適用する事業（下記リンク先ページ下部）のうち助成を受けている方[https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/hojo\_josei\_manual\_manual.html](http://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/hojo_josei_manual_manual.html)・御回答いただきました情報は、厳重な管理の下で取り扱うこととし、情報を外部に公表する場合には、統計処理するなど機関名等が特定されないよういたします。 |

【追加資料３】

事業成果の広報活動について

**（様式第1）**

**【重要】提案者の記入方法を参照**

提案者の名称　　○○○○

**（様式第1）課題設定型産業技術開発費助成金交付申請書の「１．助成事業の名称」に記入したものを転記。**

助成事業の名称　■■■■

　本事業では、交付規程第9条第1項二十一号及び第23条第4項に定める報道機関その他への成果の公開・発表等については、公募要領に従い、以下のとおりとします。

　①　本事業の成果、実用化・製品化に係る発表又は公開（取材対応、ニュースリリース、製品発表等）を実施する際は事前にNEDOに報告を行うものとする。特に記者会見・ニュースリリースについては事前準備等を鑑み原則公開の3週間前に報告を行うものとする。

　②　報告の方法は、文書によるものの他、電子媒体（電子メール等）による通知を認める。その際、NEDOからの受領の連絡をもって履行されたものとする。

　③　公開内容についてNEDOと事業者は内容を調整・合意のもと、協力して効果的な情報発信に努めるものとする。

　④　前項目に基づき発表又は公開する場合において、特段の理由がある場合を除き、記載例を参考にしてその内容がNEDO事業の成果として得られたものであることを明示する。なお、その場合には、NEDOの了解を得てNEDOのシンボルマークを使用することができる。

【成果の発表又は公開する場合の記載例】

「この成果は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の事業において得られたものです。」

【事業化・製品化等について発表又は公開する場合の記載例】

「これは、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の事業において得られた成果を（一部）活用しています。」

【追加資料４】

**e-Radに本公募に対する応募内容を登録し、「応募内容提案書」（PDF）を出力の上、挿入してください。**

【追加資料５】

**・提案書の提出期限に間に合わない場合は、2023年5月31日正午までに追加で提出することを認めます。その場合、以下の余白に「後日提出予定」と記入してください。**

**躍進Cの応募者のみ必須です。躍進A・躍進Bの応募者は本ページは削除してください。**

出資関心願

**・出資関心者が複数いる場合は、本資料は複数の提出を認めます。**

**・提案者、関心者とも、手書き、押印の必要はありません。**

20XX年XX月XX日

＿**（VC等の名称）**＿＿殿

**（様式第1）**

**【重要】提案者の記入方法を参照**

提案者　住　　　所　××××

名　　　称　○○○○

代表者氏名　●●●●

今般、私が国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構が実施する課題設定型産業技術開発費助成金（以下「NEP（躍進コース）」という）応募に係る条件として、NEP（躍進コース）でProof of Concept(PoC)の確証が得られた場合、私が設立または所属する法人に対して将来的に出資関心があることを確認願います。

出資関心確認書

　上記の件に関し、貴殿が設立または所属する法人がNEP（躍進コース）として採択され、Proof of Concept(PoC)の確証が得られたときは、出資関心があることを認めます。

この関心確認書により、採択者への出資を保証するものではありません。

**VC等に記入いただいてください**

年　　月　　日

関心者　名　　称

住　　所

役　　職

氏　　名